



組織と個人の リスク予防管理

リスク管理＝不確実性による損失の可能性への対処



特定



評価



対策



監視

目次

組織のリスク管理

個人のリスク管理

AI利用時のリスク管理



組織におけるリスクの種類

活動のあらゆる側面にリスクが潜む



経営リスク

市場変動、競争、資金繰り



技術リスク

システム障害、品質不良



法務・コンプライアンス

法令違反、規制対応



国際リスク

地政学、為替、国際紛争



人的リスク

労働環境、ハラスメント



自然災害・感染症

パンデミック、環境災害

→ 工学・理工学・経営・国際関係・人文・生物・生命健康・教育の全領域にまたがる

工学部・理工学部系の視点：技術リスクと安全設計

技術者倫理と安全文化の重要性

技術リスク

- システム障害・サイバー攻撃
- AI・IoTの普及による新たなリスク

安全設計のアプローチ

- フェイルセーフ・冗長化設計
- リスクアセスメント（FMEA、FTA）

→ 技術者倫理と安全文化が、技術リスク管理の基盤となる

経営情報学部系の視点：企業戦略とリスク管理

リスク管理は経営戦略の一部

ERM（全社的リスク管理）

企業価値を守る統合的なリスク
管理の枠組み

財務リスク管理

為替・金利・資金繰りリスクへ
のヘッジ戦略

サプライチェーン（物流） リスク

調達・物流の途絶リスクと分散
戦略

→ 企業不祥事や経営判断の失敗、営業環境の変化がリスクの本質を左右する

国際関係学部系の視点：地政学リスクと国際安全保障

海外進出や多国籍化によるリスクの連鎖

地政学的リスク

- 国際紛争、経済制裁、貿易摩擦
- 国際テロ、サイバー戦争
- 多国籍企業のリスク分散

国際機関の役割

- UN（国際連合）
- WTO（世界貿易機関）
- WHO（世界保健機関）

→ グローバル化が進むほど、リスクの連鎖と伝播が加速する

人文学部・現代教育学部系の視点：文化・コミュニケーション

組織文化がリスクに与える影響

異文化コミュニケーション

誤解による信頼の損失、交渉の失敗

メディアリテラシー

不正確な情報による誤判断

教育

組織の価値感の共有不足

→ コミュニケーション力、情報真贋力、教育力がリスク管理の基盤となる

応用生物学部系の視点：自然・生態系リスク

科学的根拠に基づくリスクコミュニケーション

感染症リスク

発生メカニズムの理解とパンデミック対応

生態系の破壊

人為的・作為的な生態系の破壊が社会に与える影響

食品安全

食品製造事故のリスクとHACCPによる予防・安全性評価

→ 生物学的リスクの理解が、予防と危機対応の質を決める

生命健康学部系の視点：健康リスクと予防

社員や職員の健康リテラシー向上が組織全体のリスクを低減する

健康リスク

- 生活習慣病・メンタルヘルス
- 公衆衛生とリスク管理
- 健康行動の意思決定

医療リスク

- 医療現場のヒューマンエラー
- 社員や職員の健康リテラシー向上
- 予防医学の推進

→ 健康リテラシーの向上が、組織のリスクを低減する

個人におけるリスクの種類

日常生活から将来設計まで、個人にもリスク管理は不可欠



健康リスク

病気、怪我、生活習慣

応用生物学部・生命健康科学部



経済リスク

就業状況、収入変動、投資損失

経営情報学部



情報リスク

SNS、個人情報の漏洩

工学部・理工学部



国際リスク

海外渡航、海外勤務の安全

国際関係学部



心理・文化的リスク

言語、解釈、コミュニケーション、文化、倫理観

人文学部・現代教育学部

まとめ：専門分野横断で考えるリスク管理

リスクを恐れるのではなく、理解し、コントロールする

リスク管理は全学問領域に共通する基盤

組織と個人のリスクは相互に影響

科学的・倫理的・国際的視点の統合が必要

学生の今、皆さんが磨くことができる能力



情報分析力



建設的思考



EQ重視の対話力



多角的視点

「リスクを恐れるのではなく、理解し、コントロールする」姿勢が重要

今皆さんが磨くことができる能力

情報の精度と信頼度を見極める分析力、そして建設的な思考

情報分析力

- 情報源の信頼性を評価する力
- データの精度・偏向を見抜く力
- 証拠に基づく意思決定
- 錯綜する情報の嵐の中において、偽情報や誇大表現、誘導表現、偏向報道に惑わされず、正確な情報を見極める真贋力（しんがんりょく）

建設的思考

- 問題を批判で終わらせず、解決策を提示する姿勢
- 失敗から学び、改善サイクルを回す思考法
- 多様な意見を統合し、より良い結論を導く力
- リスクを機会に変える前向きな姿勢

→ 正確な情報を見極め、それを建設的な行動につなげる力がリスク管理の出発点

今皆さんが磨くことができる能力

共感と信頼を基盤とした対話力、そして学部をまたぐ多角的な視点

EQ重視の対話力

- EQ : Emotional Quotient (感情指数)
- 自分の感情をコントロールし、冷静に伝える力
- 相手の感情を理解し、共感を示す傾聴力
- 信頼関係を築き、チームの心理的安全性を高める
- 異なる意見を尊重しながら建設的に議論する姿勢
- まず、時間に余裕を持ちましょう！

多角的視点

- 工学・理工学・経営情報・国際関係・人文・応用生物・生命健康科学・現代教育の8学部の知見を横断
- 一つの問題を複数の専門領域から分析する習慣
- 異分野の学生との協働で視野を広げる
- 課題の本質を総合的に捕える俯瞰力（ふかんりょく）により最適解を出す

→ EQを重視した対話と多角的視点が、複雑なリスクへの総合的な対応を可能にする

目次

組織のリスク管理

個人のリスク管理

AI利用時のリスク管理



AI利用時の注意点（1/3）

情報の正確性・機密情報・著作権

1. 情報の正確性に関する注意

- AIの回答は必ずしも正確とは限らない
- 古い情報や誤った内容が含まれる可能性がある
- 重要な判断には必ず人間が確認（ファクトチェック）する

複数の情報源で裏取り、
公式資料・一次情報を優先

2. 機密情報・個人情報の取り扱い

- AIに入力した情報は外部に漏れる可能性がある
- 個人情報・企業の機密情報・認証情報は入力禁止または要注意

匿名化・抽象化して入力する、
社内ガイドラインを遵守

3. 著作権・知的財産権

- AIが生成した内容でも既存の著作物に似る可能性がある
- 無断利用すると権利侵害のリスク

そのまま使用せず人の手で
編集・確認、商用利用時は特に注意

→ 正しい情報を見極め、機密を守り、権利を尊重する

AI利用時の注意点 (2/3)

バイアス・責任の所在・過度な依存

4. 偏り・倫理的問題

- AIは**学習データ**の影響を受け、偏りや不適切な表現を含む場合がある

出力内容を必ずチェック、
偏り・不適切な内容は使用しない

5. 責任の所在

- AIの出力をそのまま使った場合でも、最終責任は利用者にある

意思決定は人が行う、
AIは「補助ツール」として使う

6. 過度な依存の回避

- AIに頼りすぎると、思考力や判断力が低下する恐れ

自分で考えるプロセスを
省略しない、補助・効率化目的で使用

→ 公平性・責任・自律性の観点でAIとの関わり方を見直す

AI利用時の注意点 (3/3)

セキュリティ・出力品質・法令遵守

7. セキュリティリスク

- AIツールを装った偽サービスや詐欺の可能性
- 不正なプラグインや拡張機能にも注意

信頼できるサービスのみ利用、
アクセス権限を最小限にする

8. 出力品質のばらつき、再現性

- 同じ質問でも回答が変わる場合がある

重要な内容は複数回確認、
条件や前提、指令を的確に入力⇒要国語力

9. 法令・社内規定の遵守

- AI利用に関する規制やガイドラインが存在する場合がある

自社のAIポリシーを確認、
業界規制（金融・医療など）にも注意

→ 利便性とリスクのバランスを保ち、安全にAIを活用する

まとめ (1/2)

AI利用時のリスク管理：重要ポイント

1. AIの回答は不完全 → 事実や精度確認を徹底

2. 機密情報・個人情報
はAIに入力しない

3. 著作権侵害の可能性に注意

4. 偏った情報や不適切な表現を含む可能性 → 必ずチェック

5. AI利用の最終責任は利用者にある

まとめ (2/2)

AI利用時のリスク管理：重要ポイント

6. AIに頼りすぎず自分で考える力を維持

7. 信頼できるサービスを利用する

8. 出力は必ず合理性を確認して使用する

9. 学内規定や社内規定など規定とAI関連法令を遵守する

質疑応答